

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		9-	6
事業名	ふれあいセンター経費	会計	款	項	目
		一般	3	1	3
施 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	地域福祉課		
施 策	3-2 地域福祉の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（施設利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域福祉を推進する拠点施設であるふれあいセンターの適切な維持管理を行ない、町民の福祉増進及び福祉意識の高揚を図る。
事業内容	・地域に密着した各種福祉活動の拠点であるふれあいセンターの保守点検及び維持管理を行うとともに、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、長寿命化を図るため、計画的な改修を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
全体事業費（千円）			47,849		15,863		18,521	
財源内訳	うち一般財源		35,873		6,364		9,642	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。R6年度は、災害時に福祉避難所として活用することを視野に入れ、非常用電源の設置を行う。	③取組の課題	福祉避難所として、運営などソフト面の整備が必要。
②R6年度に実施した取り組み	福祉避難所として、非常用電源の新設と幼児用トイレの改修工事を行った。	④今後の改善計画	防災部局と連携し、妊産婦や乳幼児の災害時避難に備える必要がある。